

■ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分に心得になったうえで正しくご使用ください。

■特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

■お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」とともに大切に保管してください。

This product is designed and manufactured for use only in Japan. In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.



取扱説明書

アール

CW-1624R
CW-1824R

ページ

1	安全上のご注意	2~4
2	上手な使いかた	4
3	リモコンで使用する前に	5
4	リモコンが使えないとき	5
5	各部のなまえとはたらき	6
6	リモコンのなまえとはたらき	7
7	ご使用の前に	8
8	風向調節	9
9	自動運転	9
10	手動運転	10
11	ドライ運転	10
12	内部乾燥運転	11
13	タイマー運転	11
14	エアコンの運転と性能について	12
15	据え付け	12
16	お手入れのしかた	13
17	故障かな?と思ったら	14
18	仕様	14
19	保証とアフターサービス	15
20	長期使用製品安全表示制度に 基づく本体表示について	15
	お客様ご相談窓口	裏表紙

1 安全上のご注意(必ずお守りください)

●ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○表示の説明

 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

○図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制（必ず守ること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

据え付け時のご注意

⚠ 警告

据え付けは、強度が十分な場所を選定し、据付説明書に従って確実におこなう

強度が不足したり据え付けが不完全な場合は、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるけがの原因になります。また、騒音や振動が他へ伝わり増大する原因になります。



必ず守る

漏電しゃ断器を取り付ける

漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電、火災の原因になります。
お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。



必ず守る

据え付けは、必ず付属の「標準取付枠」を使って正しくおこなう

取付枠や据付方法に不備があるとエアコン落下によるけがの原因になります。



必ず守る

電気工事が必要な場合は、お買いあげの販売店または専門業者に依頼する

配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。



必ず守る

アース(接地)を確実におこなう

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース(接地)が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。

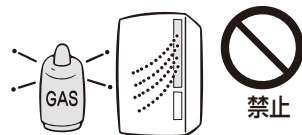


アース線接続

⚠ 注意

可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一ガスがもれてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。



禁止

移設・修理時のご注意

⚠ 警告

修理は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ依頼する

修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



必ず守る

エアコンを移動再設置する場合は、据付説明書に従って確実におこなう

据え付け不備があると、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるけがの原因になります。



必ず守る

■据え付けに関する詳細については、12ページの「据え付け」の項目をごらんください。

■修理については、14・15ページの「故障かな?と思ったら」や「保証とアフターサービス」の項目をごらんください。

安全に使っていただくためのご注意

警告

電源コードの途中での接続、延長コードの使用、タコ足配線はしない

感電や発熱・火災の原因になります。



禁止

電源プラグは、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込む

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、お買いあげの販売店または専門業者に修理を依頼してください。



必ず守る

運転中に、電源プラグを抜いて停止しない

感電や火災の原因になります。



禁止

電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない

電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。



禁止

エアコン内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄をおこなうと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気部品やモータにかかると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。



必ず守る

吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しており、けがの原因になります。また、吹出口に指や棒などを入れると感電や故障の原因になります。



禁止

**エアコンが冷えない場合は、冷媒のもれが原因のひとつとして考えられるので、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する**

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常もれることはありませんが、万一冷媒が室内にもれ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒な生成物が発生する原因になります。



必ず守る

長時間冷風を身体に直接あてたり、冷やしすぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源プラグを抜き修理を依頼する

異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談してください。



プラグを抜く

注意

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張って抜かない

芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



禁止

長期間使用しない場合は電源プラグを抜く

ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く

内部でファンが高速回転しておりますのでけがの原因になることがあります。



プラグを抜く

燃焼器具と併用するときは、こまめに換気する

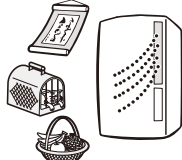
換気が不十分な場合は、酸素不足により不完全燃焼の原因になることがあります。



必ず守る

業務用や特殊用途には使用しない

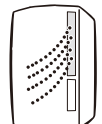
食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。保存品の品質低下や予測できない事故の原因になることがあります。



禁止

エアコンの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



禁止

エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない

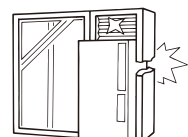
漏電によって感電や発火の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

長期使用で傷んだままの取付枠などで使用しない

エアコンの落下・転倒につながり、けがなどの原因になることがあります。



禁止

動植物に直接風をあてない

動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

エアコンのアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。



接触禁止

⚠ 注意

運転中は、本体背面の窓を閉めない

窓を閉めたまま運転すると、故障や温風で窓ガラス破損の原因になることがあります。



禁止

室外側の吸込口や吹出口をふさがない

本体背面から1m以内に障害物があると、冷風が出なくなるなどの能力低下や故障の原因になることがあります。



禁止

エアコンの下に他の電気製品や家具などを置かない

水滴が滴下する場合があります、汚損や故障の原因になることがあります。



禁止

取りはずすときは、エアコンを傾けない

内部にたまっている水が滴下して家財などをぬらす原因になることがあります。



禁止

豪雨や台風のときは、運転を停止して窓を閉める

運転のため窓を開けたままにすると、室内に浸水して家財などをぬらす原因になることがあります。



必ず守る

外出するときは窓を閉め、窓の鍵をかける

お出かけのときなどは、必ず窓ストッパーを室内側に引き入れ、窓を閉めて窓の鍵をかけてください。



必ず守る

100V 15A以上のコンセントで単独で使用する

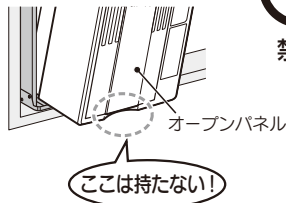
感電や火災の原因になります。



必ず守る

取り付け、取りはずしは、オープンパネルを持たない

エアコンの取り付け、取りはずしは、オープンパネル下部の引掛け部は持たないでください。オープンパネルがはずれ、エアコン落下によるけがや故障の原因になることがあります。



禁止

■次のような使用はさけてください

- 窓やドアを開けたままでの運転
- 適室より大きい部屋での運転
(設定温度に達しなかったり、除湿量が多くなるため、室外側から水滴が出てくる場合があります。)

2 上手な使いかた

エアフィルタのお手入れはこまめに

エアフィルタにほこりがつまると冷房能力の低下、電気代のムダにつながります。2週間に1回はお手入れをしてください。また、エアフィルタをはずしたまま運転すると、エアコン内部が汚れ、故障の原因になります。

室内温度は適温に

冷やしすぎは健康によくありません。また、電気のムダ使いにもなります。冷房は26～28℃を目安にお使いください。

特に身体のご不自由な方や乳幼児、お子さま、お年寄り、ご病気の方などがご使用の場合は、周囲の方が常に注意して、快適な室温に調節してあげてください。

タイマーを有効に

おやすみ時などにタイマーを有効に利用することで、必要な時間だけ運転するようにしましょう。電気のムダが省けます。

吸込口・吹出口をふさがない

本体正面と背面の吸込口・吹出口付近にあみ戸やカーテン、すだれなどの障害物があると、エアコンの性能が低下したり、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。

風向調節を上手に

室内の温度むらが発生しないように風向を調節してください。ルーバーは必ず開けて使用してください。

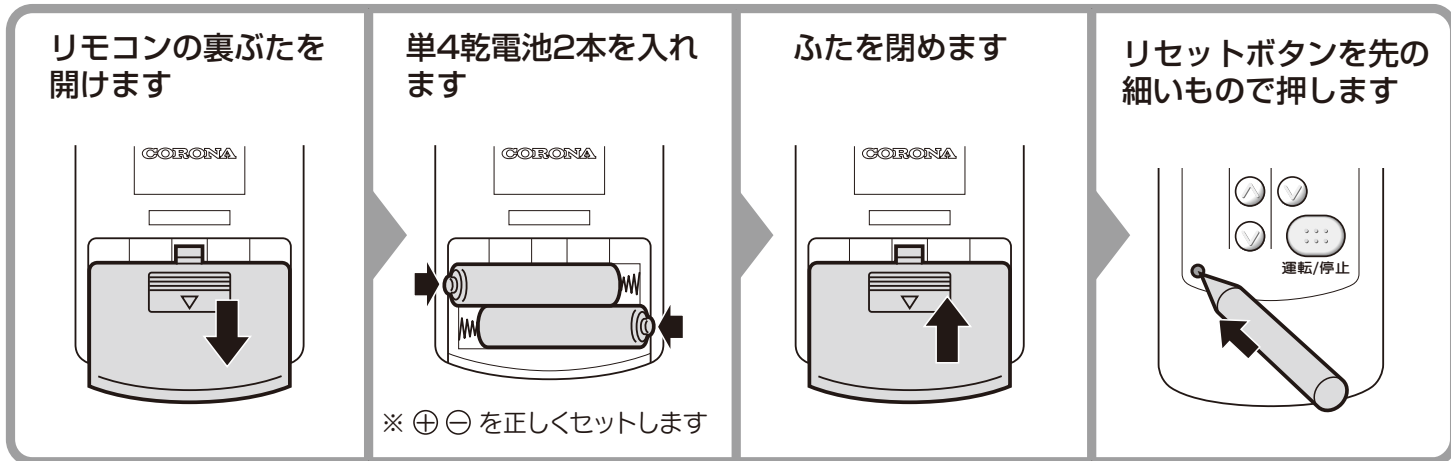
また、ルーバーで吹出口をふさぐようにして長時間、冷房・ドライ運転をするとルーバーの表面やエアコン本体に露が付き滴下することがありますのでご注意ください。

窓にはカーテンやブラインドを

直射日光を防ぐと省エネ効果があります。

3 リモコンご使用の前に

ご使用になる前に付属の乾電池をリモコンに入れてください。



乾電池の交換時期	■液晶表示部がうすくなってきたら、電池が消耗してきています。 新しい乾電池に交換してください。
使用乾電池	■単4形 2本

お知らせ

- 通常のご使用で乾電池の寿命は約1年です。
- 付属の乾電池は最初に使用するときのためにご用意しているものですので、1年未満で消耗することがあります。

ご注意

- 乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破れつすることがありますので、つぎの点について特にご注意ください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池は寸法・性能などに、一部異なる部分がありますので使用しないでください。
- 長期間使わないときは、乾電池をリモコンから取りはずしてください。

4 リモコンが使えないとき

リモコンの電池が切れたり、リモコンが見つからないときに、本体表示部の自動運転ボタンで運転・停止ができます。



本体表示部の自動運転ボタンを押します。

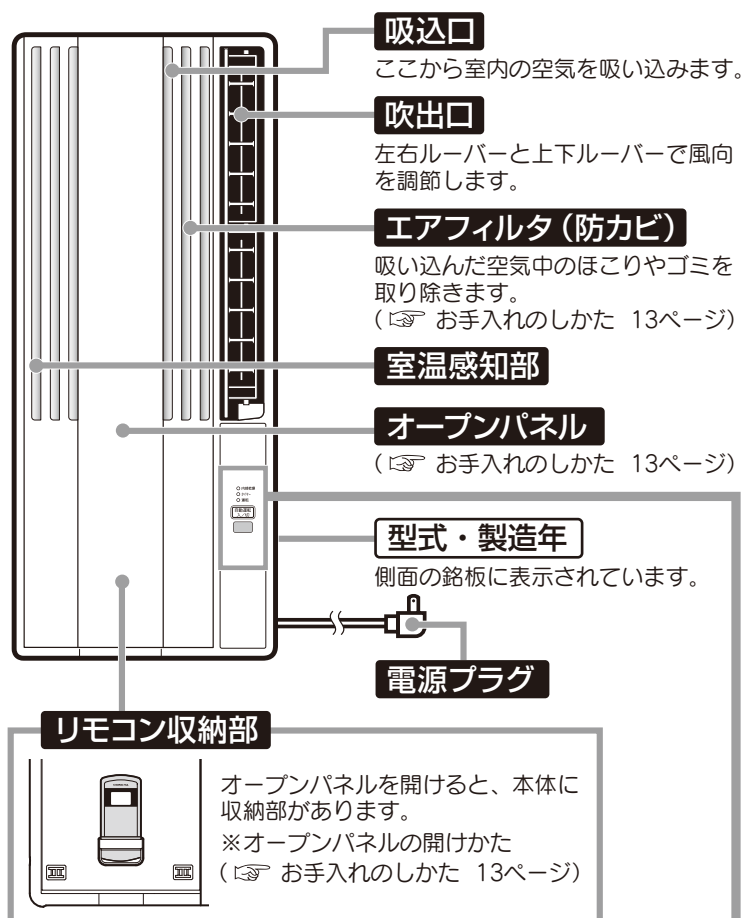
- 現在の室温に合わせた自動運転を開始します。
(自動運転 9ページ)

ご注意

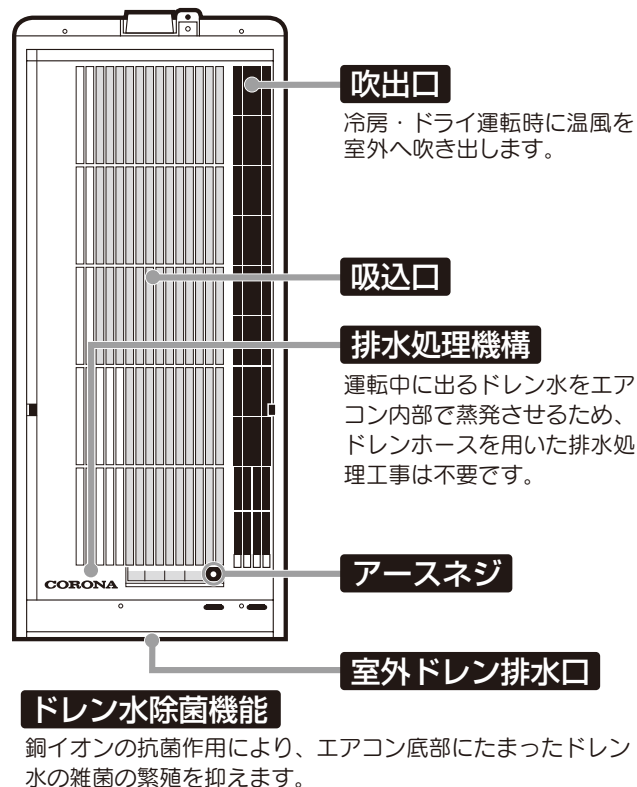
- 本体表示部の自動運転ボタンでは、運転モード、設定風量、設定温度の変更はできません。
- エアコン停止中に、自動運転ボタンを3秒以上押し続けると、内部乾燥運転を開始しますのでご注意ください。(内部乾燥運転 11ページ)

5 各部のなまえとはたらき

正面(室内側)

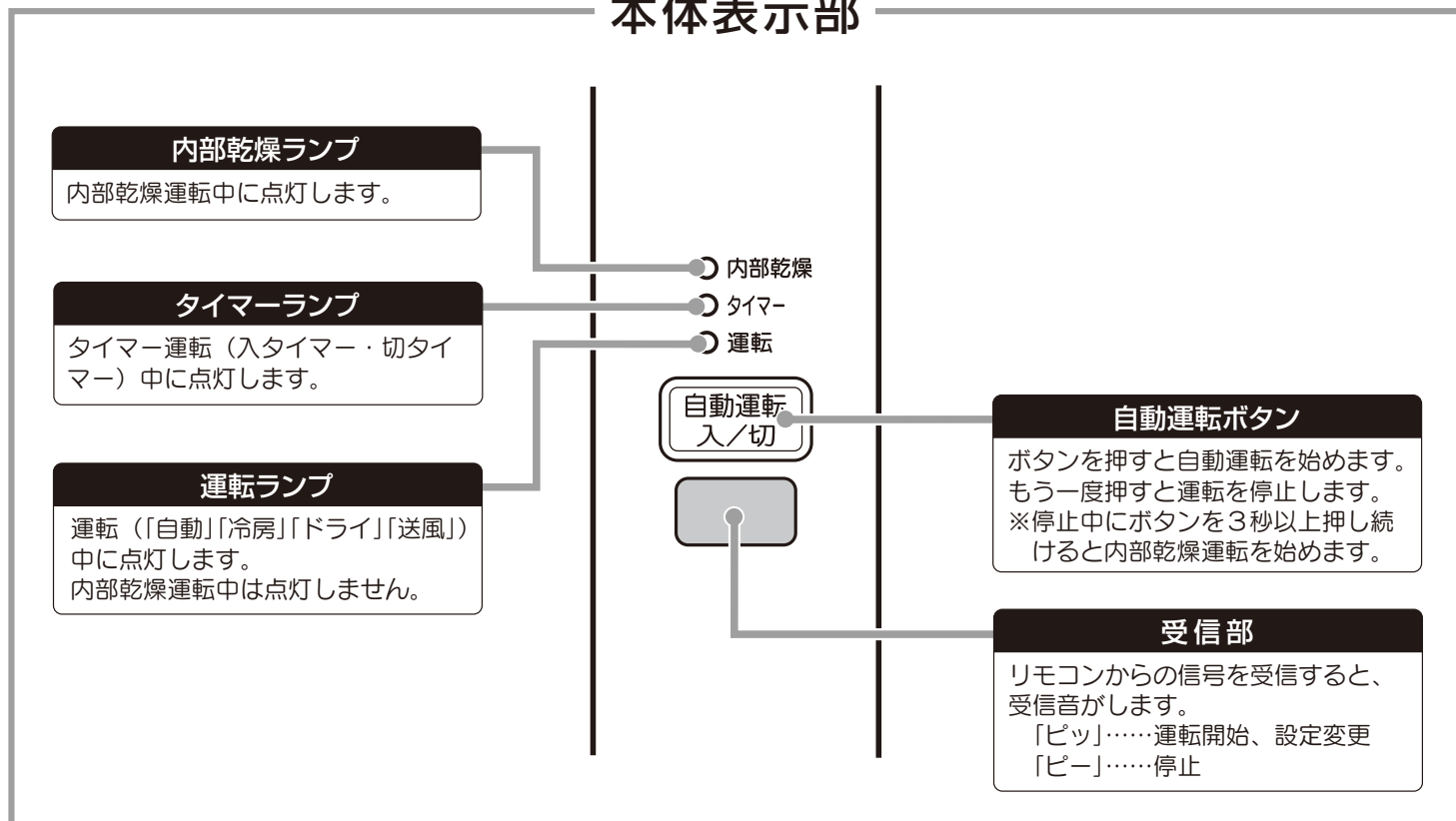


背面(室外側)

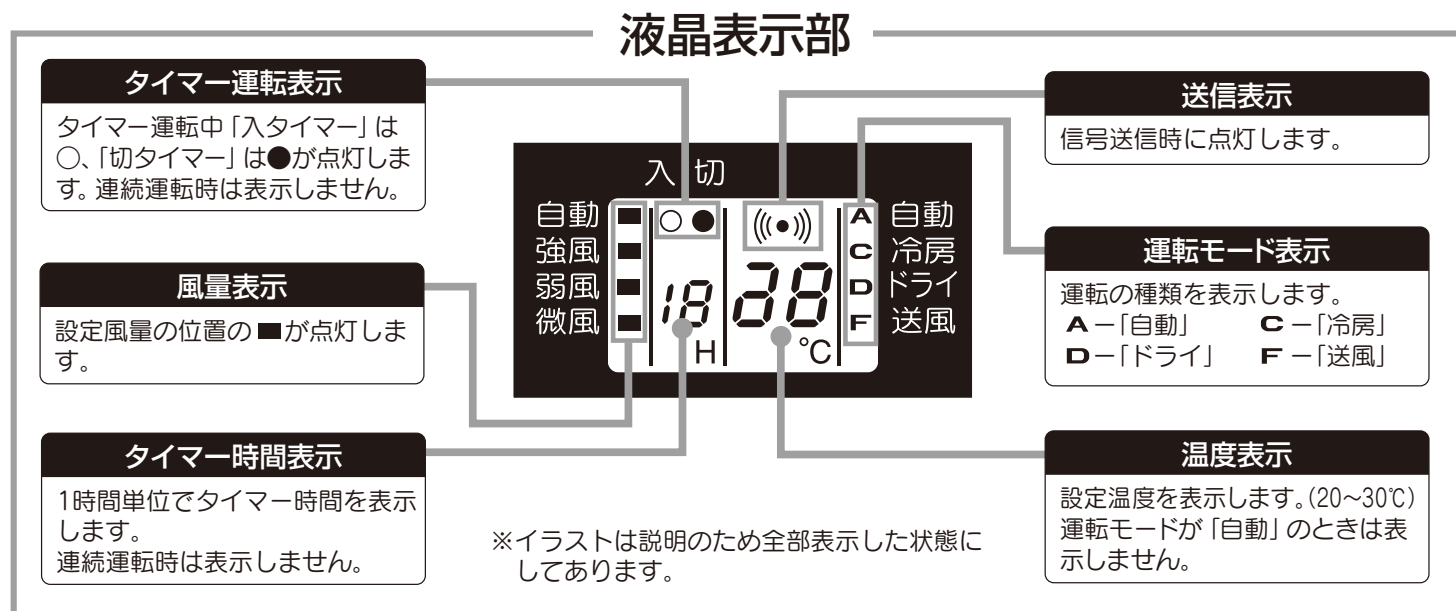
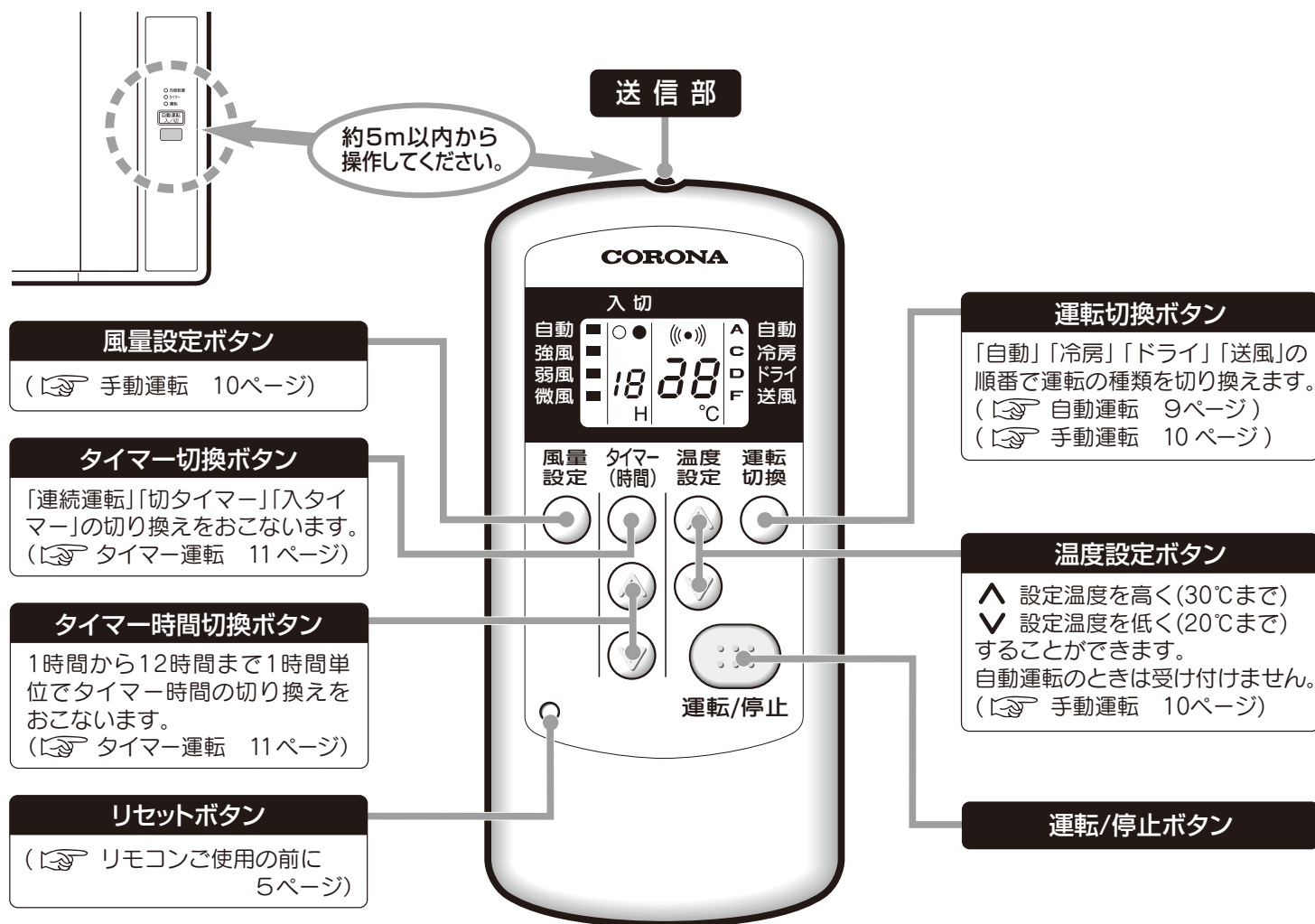


本体表示部とリモコンの文字板の表面に保護シートを貼っていますので、取り除いてください。

本体表示部



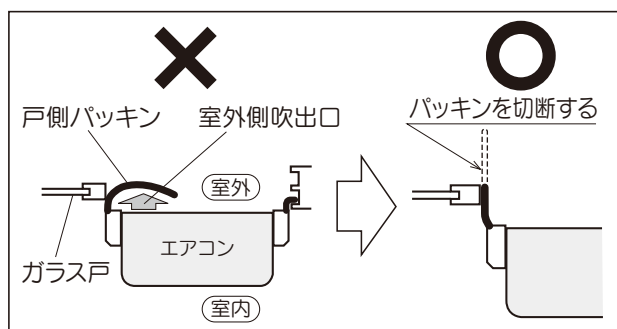
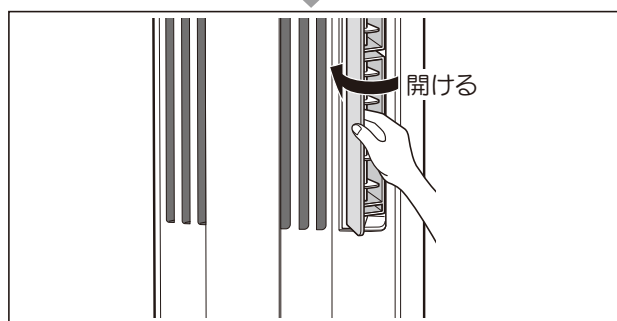
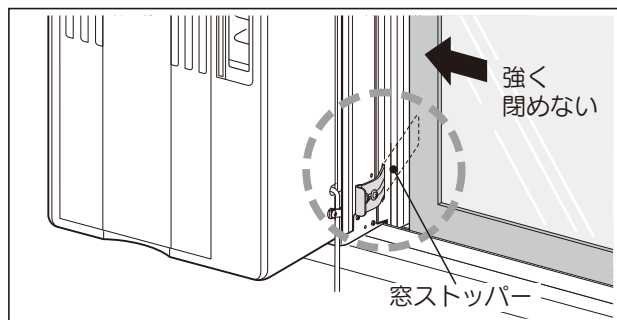
リモコンのなまえとはたらき



ご注意

- 本体受信部とリモコンの間にカーテンなど信号をさえぎる物があると動作しません。
- リモコンを投げたり、落としたりしないでください。また、水などをかけたりしないでください。
- リモコンを直射日光のあたる所や、ストーブなどの近くに置かないでください。
- 本体受信部に直射日光があたる場合、エアコンは正しく動作しない場合があります。カーテンなどでさえぎってください。
- 電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では、リモコンの信号を受け付けられない場合があります。このようなときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

7 ご使用の前に



窓・あみ戸を開けます。

■室外側への放熱のため、窓・あみ戸を開けます。
(窓・あみ戸は途中で止めずに、完全に開けてください。)

窓を窓ストッパーまで閉めます。

■窓を窓ストッパーにあたるまで、ゆっくりと閉めます。

ご注意

■窓を強く閉めると取付枠が変形することがありますのでご注意ください。
■窓・あみ戸・パッキンなどで室外側の吸込口・吹出口をふさぐと、エアコンの性能が低下したり、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。

吹出口のルーバーを開けます。

■吹出口のルーバーを正面の位置まで開けます。

ご注意

■吹出口のルーバーは、必ず開けて使用してください。

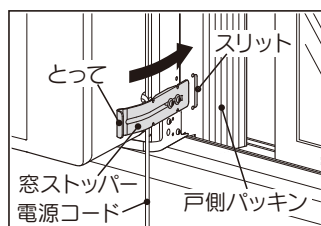
窓の右側に据え付けの場合

パッキンが室外側の吹出口をふさいでいませんか

ガラス戸よりはみ出した戸側パッキンを切断してあるか確認してください。
はみ出したままですと、室外側吹出口をふさいでしまい、能力不足となり、「冷えない」といった症状の原因になりますので、必ず切断してください。

窓ストッパーの使いかた

エアコンを運転するとき



窓ストッパーを出します。

■エアコン側の窓を開けて窓ストッパーのとってを矢印方向に押し、戸側パッキンのスリットに通し室外側に押し出します。

ご注意

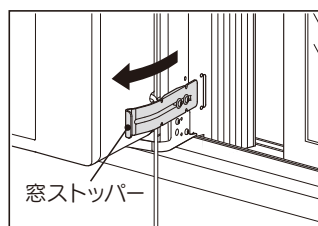
■窓ストッパーに電源コードがあたらないように電源コードの配線にご注意ください。(窓の左側に据え付けの場合)

■窓ストッパーが室外側に突き当たって止まるまで押し出します。

ご注意

■エアコン使用中の戸締り用の鍵は同梱されていません。必要に応じて市販の窓用補助鍵を購入してください。

運転を停止して、窓を閉めるとき



窓ストッパーを入れます。

■エアコン側の窓を開けて窓ストッパーのとってを矢印方向に引いて、突き当たって止まるまで室内側に引き入れます。

ご注意

■窓を閉めるときは、必ず窓ストッパーを室内側に引き入れてください。窓の開閉時などに、窓が破損する原因になることがあります。

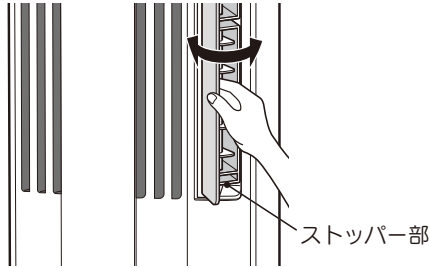
**窓を閉め
窓の鍵をかけます。**

8 風向調節

室内の温度むらが発生しないように風向をルーバーで調節してください。

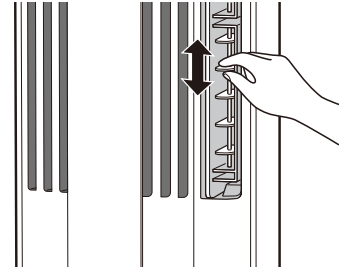
左右ルーバー

ご使用の前にルーバーを正面の位置まで開けます。
左側全開から右側は軽くあたるところ（ストッパー部）
までの範囲で、左右
に調節してください。



上下ルーバー

通常は水平または、少し上向きにしてください。



ご注意

- ルーバーは必ず開けて使用してください。
- ルーバーで吹出口をふさぐようにして長時間、冷房・ドライ運転をするとルーバーの表面やエアコン本体に露が付き滴下することがあります。

9 自動運転

室温センサーをもとに運転開始時の室温に応じて冷房・ドライ・送風のいずれかを自動的に選んで運転を開始します。

運転/停止ボタンを押します。

■リモコン表示部とエアコン本体表示部の運転ランプが点灯し、運転を開始します。

「自動」以外の運転モードが選択されている場合は…

運転切換ボタンで「自動」を選びます。

■運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。

A 自動 ▶ C 冷房 ▶ D ドライ ▶ F 送風

エアコンが自動的に選ぶ運転の内容

運転開始時の室温	運転の種類	設定温度	風量
約27℃以上のとき	冷房	26℃	自動
約25℃～27℃未満のとき	ドライ	25℃	微風
約23℃～25℃未満のとき		23℃	
約23℃未満のとき	送風	23℃	微風

※ドライ運転が選択されたときは室温によってはすぐに運転しないこともあります。

ご注意

- 自動運転の場合、設定風量・設定温度の変更はできません。運転内容がお好みに合わないときは、手動運転に切り換えて風量・温度を調節してください。
- 自動運転では、リモコン表示部に設定温度は表示されません。

10 手動運転 (冷房・ドライ・送風)

冷房・ドライ・送風運転をお好みにより選択できます。一度セットすると、次回からは運転 / 停止ボタンを押すだけで同じ内容の運転ができます。



運転/停止ボタンを押します。

■リモコン表示部とエアコン本体表示部の運転ランプが点灯し、運転を開始します。



運転切換ボタンを押し、運転の種類を選びます。

■運転切換ボタンを押すと、つぎの順番で運転の種類が切り換わります。

A 自動 ▶ C 冷房 ▶ D ドライ ▶ F 送風

■冷房運転では室温に応じて冷房運転と送風運転を自動で切り換えて運転します。

■送風運転では室内ファンのみ運転します。



風量を変えたいときは……

風量設定ボタンを押します。

■風量設定ボタンを押すと、つぎの順番で風量が切り換わります。

自動 ▶ 強風 ▶ 弱風 ▶ 微風

■風量「自動」では室温に応じ風の強さが自動的に変わります。

■ドライ運転のときは風量「自動」を表示し、微風で運転します。



設定温度を変えたいときは……

⬆ ボタンを押すと設定温度があがり、

⬇ ボタンを押すと設定温度がさがります。

(1°C刻み)

設定温度範囲とおすすめ温度

室温と外気温との差が大きくなりすぎると健康によくありません。おすすめ温度の範囲でのご使用が理想的です。

運転の種類	冷房	ドライ	送風
おすすめ温度	26～28℃	室温より1～2℃低め	——
設定範囲	20～30℃ (1℃刻み)		

ご注意

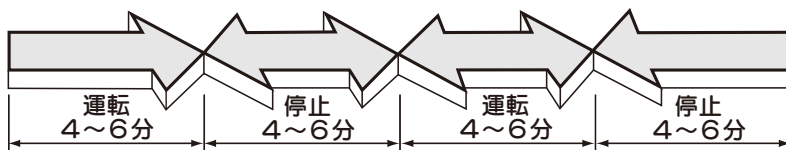
■リモコンは必ず本体に向けて操作してください。

■湿度が高いときに長時間冷房・ドライ運転をすると、エアコンの吹出口付近に露が付き滴下することがあります。

11 ドライ運転

風量「微風」運転で、お部屋の温度をあまりさげないで湿気をとります。

■風量は「自動」を表示し、風量設定ボタンを押しても風量は切り換わりません。



室 温	ド ラ イ 運 転 の 内 容
設定温度より2℃以上高い場合	連続して運転
設定温度から+2℃までの場合	6分運転 4分停止をくり返す
設定温度以下の場合	4分運転 6分停止をくり返す
18℃以下の場合	運転を停止

12 内部乾燥運転

運転後や長期間お使いにならないときに内部乾燥運転をすると、エアコン内部を乾燥させ、いやなニオイの原因となるカビや雑菌の繁殖をおさえます。

冷房シーズン終了時にはカビの発生をおさえるために、内部乾燥運転をおこない、内部をよく乾燥させてください。

エアコン停止中に本体表示部の自動運転ボタンを3秒以上押すと、内部乾燥運転を開始します。

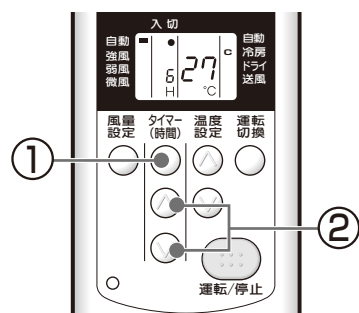
- 内部乾燥運転中は、本体表示部の内部乾燥ランプが点灯します。
- 内部乾燥運転は、運転開始から約60分後に自動停止します。
- 内部乾燥運転を途中で停止したいときは、本体表示部の自動運転ボタンを押すか、リモコンの運転/停止ボタンを押してください。

ご注意

- 内部乾燥運転中は、エアコン内部にこもった湿気を放出するため室内の湿度が上がることがありますので、窓を開けてお使いになることをおすすめします。
- 内部乾燥運転は、すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきはありません。

13 タイマー運転

タイマーを上手に使うことで、必要な時間だけ運転することができます。



切 (運転→停止)・入 (停止→運転) タイマーのセット

①タイマー切換ボタンを押します。

- ボタンを押すと、つぎの順番で表示が切り換わります。



「切」●タイマーの場合は…「切」●を選択します。
「入」○タイマーの場合は…「入」○を選択します。

※運転モードを確認してください。

※本体表示部のタイマーランプの点灯を確認してください。



【切タイマー】

例えば…2時間後に運転をやめたい場合



【入タイマー】

例えば…6時間後に運転をさせたい場合



取消

② (↑)・(↓) ボタンでタイマー時間をセットします。

- (↑)・(↓) ボタンを押して、エアコンを停止または開始させたい時間に合わせます。(表示の時間後にエアコンの運転を停止または開始します。)

※1時間から12時間まで1時間単位でセットできます。

※セット時間は記憶されます。

【おやすみ自動運転】

切タイマー運転をすると、通常の設定温度に対し右記のように設定温度を変更します。
おやすみ中は体温調節機能が低下しますので、冷えすぎないように室温コントロールします。
風量「自動」の場合は微風運転になります。

切タイマー運転開始 1時間後の設定温度	切タイマー運転開始 2時間後の設定温度
約1℃高め	約2℃高め

(2時間後以降は、2時間後の設定温度と同じままとります。)

タイマーセットを取り消したいとき……

タイマー切換ボタンを押して連続運転にします。

「切」●タイマーのとき…●とタイマー時間の表示は消えます。(2回押し)
「入」○タイマーのとき…○とタイマー時間の表示が消え運転を開始します。

※本体の運転開始と本体表示部のタイマーランプの消灯を確認してください。

※運転を停止したい場合は、運転/停止ボタンを押してください。

ご注意

- タイマー運転中に停電があったときは、通電が再開したらタイマーを再設定してください。
- 電池交換をすると切タイマーは1時間、入タイマーは6時間の設定となりますので再度設定してください。

14 エアコンの運転と性能について

ドレン水の処理について

- 運転中に出るドレン水をエアコン内部で蒸発させるため、ドレンホースを用いた排水処理工事は不要です。部屋の湿度が 80% をこえた状態で長時間運転させた場合は、室外側へドレン水が滴下することがあります。

3分間保護について

- 運転停止後すぐに運転/停止ボタンを押したときや、電源プラグを差し込んだ直後にはエアコンを保護するため、約3分間送風運転を続けた後、自動的に通常の運転に切り換わります。

アルミフィンの変色について

- 熱交換器に使用しているアルミフィンには性能向上のため、表面処理を実施しています。銅管の溶接の際の熱により変色やゆがんでいる部分が一部ありますが、性能および耐食性など何ら影響ありません。

ドライ運転の特性

- ドライ運転中はリモコンの風量表示が「自動」となり、室温により運転(微風運転)・停止をくり返します。

エアコンの運転条件

冷房運転	外気の温度	約21℃以上	約43℃以下
	部屋の温度	約21℃以上	約32℃以下
	部屋の湿度	80%以下	
ドライ 運 転	80%をこえた状態で長時間運転するとエアコンの表面に露が付き滴下することがあります。		

※上記以外の条件で長時間運転されますと保護装置がはたらき運転できないことがあります。

※冷房、ドライ運転の場合、部屋の温度が低いとき、熱交換器に霜が付くことがあります。また霜を解かすため自動的に送風運転に切り換わることがあります。

15 据え付け

警告

据え付けは、強度が十分な場所を選定し、据付説明書に従って確実におこなう

強度が不足したり据え付けが不完全な場合は、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるけがの原因になります。また、騒音や振動が他へ伝わり増大する原因になります。

ご注意

- ネジによる据え付けによって、取り付けあとが残ることがあります。

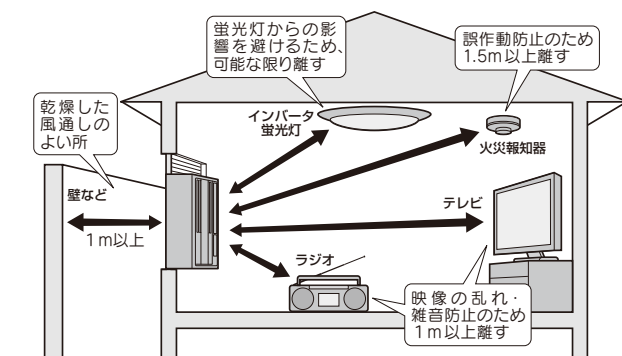
据え付け場所

■このような場所への設置はさけてください

- 油や煙・蒸気にさらされる場所
- 機械加工工場など、溶剤や油・粉塵の多い場所
- 海岸地区のような塩分の多い場所
- 温泉地のような硫化ガスの発生する場所
- テレビやラジオが1m以内にある場所
- 火災報知器が吹出口より1.5m以内にある場所
- 動植物に直接風があたる場所
- 吸込口や吹出口がふさがれる場所
- 業務用としての使用および車両、船舶など移動するもの

■騒音にもご配慮を

- 窓の強度が十分で、取付枠にもゆりみがないことを確認してください。(強度不足および取付枠のゆりみがあると、騒音や振動が他へ伝わり増大する原因になります。)
- 室外側の吹出口の近くに障害物を置くと、騒音増大のもとになることがあります。
- 室外側の吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ご使用中に異常音がする場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



※地域(電波の弱い地域)によっては1m以上離しても雑音が入る場合があります。

取りはずし・移設

注意

取りはずすときは、エアコンを傾けない

内部にたまっている水が滴下して家財などをぬらす原因になることがあります。

ご注意

- シーズンオフなど、エアコンを取りはずす際には、エアコン底部にたまったドレン水を室外ドレン排水口から抜き取ってください。(長期間使わないとき 13 ページ)
- 取りはずしたときは、エアコンを横倒し、横積み状態で保管・移動しないでください。故障の原因になります。
- エアコン本体を取りはずしたときは、取付枠や窓ストッパーの端面・突起などでけがをしないよう注意してください。

16 お手入れのしかた



警告

エアコン内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄をおこなうと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。また、洗浄剤が電気部品やモータにかかる、故障や発煙・発火の原因になります。



注意

お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。

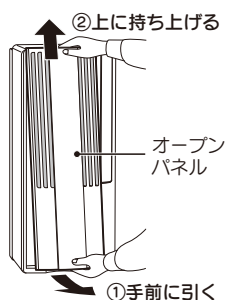
取りはずすときは、エアコンを傾けない
内部にたまっている水が滴下して家財などをぬらす原因になることがあります。

エアフィルタのお手入れ

- エアフィルタにほこりがつまると、冷房能力が低下します。2週間に1回はお手入れをしてください。

■ エアフィルタの取り出し方

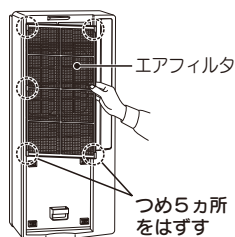
1. 右図のようにオープンパネルの下つまみを手前に引いて、オープンパネルを上を持ち上げてはずします。
2. エアフィルタの引掛けつまみカ所をはずし、エアフィルタをはずします。



■ エアフィルタの掃除

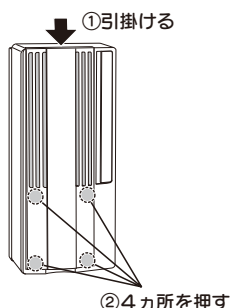
掃除機を使用するか、軽くたたいてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗ってください。洗ったあとは、水分を十分ふきとり日陰で乾かしてから、もとどおり取り付けてください。



■ オープンパネルの取り付け

オープンパネルの上部を引掛け、右図の ● 印4カ所を押して、確実に取り付けてください。



使い始めるとき

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- 運転中は、本体背面の窓を閉めないでください。窓を閉めたまま運転すると、故障や温風で窓ガラスが破損する原因になることがあります。
- 電源プラグを差し込みます。
- リモコン収納部よりリモコンを取り出し、電池を入れます。

お願い

- ゴム栓をはずしたまま運転しないでください。はずしたまま運転すると、家財などをぬらす原因になることがあります。
- エアフィルタをはずしたまま運転しないでください。ほこりなどが内部に入り、故障の原因になります。
- エアコン本体を取りはずしたときは、取付枠や窓ストッパーの端面・突起などでけがをしないよう注意してください。
- エアコンは必ず正立で運搬・保管してください。
- シーズンオフなど、エアコンを長期間使わないときは、エアコン底部にたまったドレン水を室外ドレン排水口から抜き取ってください。

点検整備のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、においが発生したり、ゴミやほこりなどによりドレン水の処理が悪くなり、水もれの原因になることがあります。

エアコンを長持ちさせるために、通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。

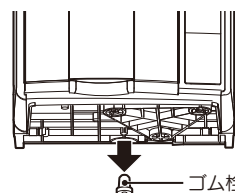
点検整備は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

オープンパネルおよび本体のお手入れ

- オープンパネルのお手入れには、スポンジや布などのやわらかいものを使用してください。
水洗いするときは、中性洗剤を溶かした40℃以下のぬるま湯か水を使用し、洗ったあとはよくすすいで、やわらかい布で水分をふき取るか、日陰で乾かしてから、もとどおりに取り付けてください。
- エアコン本体やリモコンは、やわらかい布でからぶきしてください。
- 汚れがひどいときは、40℃以下のぬるま湯か水を含ませた布をかたくしぼってふいてください。
絶対に水をかけないでください。
- ベンジン、シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどは、変形や変色の原因となりますので使用しないでください。

長期間使わないとき

- 内部乾燥運転をして内部をよく乾燥させます。
(内部乾燥運転 11ページ)
- 内部乾燥運転終了後、電源プラグを抜きます。
- 窓枠からエアコン本体を取りはずし、エアコン底部にたまったドレン水を排水します。
 1. 水受け容器を準備します。
 2. 室外側底部にあるゴム栓をはずします。
 3. 排水が終わったら、ゴム栓を戻します。



- エアフィルタを掃除してもとどおり取り付けます。
- リモコンの電池を取り出し、リモコンは本体のリモコン収納部に保管します。(リモコン収納部 6ページ)

17 故障かな?と思ったら

修理・サービスをお申し付けになる前に次の点をお調べください。

症 状		原 因 ・ 処 置 方 法
故障ではありません	部屋がにおう	■壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んでいるにおいが出てくるためです。
	“シュー” “シュー” “シャワ” “シャワ” という音がする	■冷房・ドライ運転開始時や運転中に“シュー” “シュー” と水の流れるような音がすることがあります。これは、冷媒の流れる音です。 ■冷房・ドライ運転中に“シャワ” “シャワ” という音がすることがあります。これは内部でドレン水を自動的に処理している音です。
	吹出口から不均一な温度の冷風が出る	■運転開始時や室内・室外の温度・湿度の状況により、不均一な温度となる場合がありますが、異常ではありません。
もう一度お調べください	運転しない	■停電ではありませんか。 ■電源プラグがはずれていませんか。
	よく冷えない	■ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ■リモコンの電池が切れていませんか。 ■室外側の吸込口や吹出口を窓・あみ戸・パッキンなどでふさいでいませんか。 ■エアフィルタにほこりやゴミがつまっていますか。 ■左右ルーバーで吹出口をふさいでいませんか。 ■上下ルーバーが適正な位置になっていますか。 ■風量設定が「微風」になっていませんか。 ■温度設定が適正な温度になっていますか。 ■ドアや窓が開いていませんか。 ■送風運転、ドライ運転になっていませんか。
停電のとき		■運転中に停電したとき すべての運転を停止します。通電が再開すると、本体表示部の運転ランプが点滅してお知らせします。運転を続けたいときは、あらかじめ運転/停止ボタンを押しておいてください。 ■タイマーセット中に停電したとき タイマー予約は取り消しとなり、本体表示部のタイマーランプも消灯します。通電再開後、再度セットしておいてください。
運転中誤作動したとき		■万一、カミナリ・カー無線などにより誤作動したとき コンセントから電源プラグを抜き、もう一度差し込みなおしてから、運転/停止ボタンを押しておいてください。

18 仕 様

型 式		CW-1624R		CW-1824R		
種 類		冷房専用ウインド形				
電 源		単相 100V				
電 源 周 波 数		50Hzの場合	60Hzの場合	50Hzの場合	60Hzの場合	
冷 房	能 力		1.4 kW	1.6 kW	1.6 kW	1.8 kW
	運 転 電 流		6.1 A	6.4 A	6.6 A	7.1 A
	消 費 電 力		550 W	635 W	595 W	700 W
	冷房期間エネルギー消費効率		2.5	2.5	2.6	2.6
房	冷房面積 の 目 安	鉄筋アパート 南向き洋室	10 m ²	11 m ²	11 m ²	12 m ²
		木 造 南向き和室	6 m ²	7 m ²	7 m ²	8 m ²
始 動 電 流		25 A	23 A	27 A	26 A	
運転音 (強風)(音響パワーレベル)		室内 51 dB 室外 57 dB	室内 53 dB 室外 59 dB	室内 52 dB 室外 57 dB	室内 54 dB 室外 59 dB	
総 質 量		21.5 kg				
外 形 寸 法		高さ 750 mm × 幅 335 mm × 奥行 240 mm				
付 属 品		標準取付枠、リモコン、乾電池(単4形 2本)				

- 運転特性は、JIS C 9612 : 2013 に基づいた数値です。
- この製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。運転を「停止」しても約2Wの電力を消費します。
- この製品は電源周波数50Hz、60Hzで仕様が異なります。

19 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- 保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は お買いあげいただいた日から1年間です。
(ただし、冷媒回路の保証期間は5年間です。)

保証期間中は

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後は

- お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(☎裏表紙)にご相談ください。修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理を依頼されるときは

- 「エアコンの運転と性能について」(☎12ページ)、「故障かな?と思ったら」(☎14ページ)を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(☎裏表紙)にご連絡ください。ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - 品名: ルームエアコン
 - 型式 (本体銘板(☎6ページ)または保証書をごらんください。)
 - お買いあげ日 (保証書をごらんください。)
 - 故障内容 (できるだけ具体的に。本体表示部のランプが点滅しているときは、その内容も確認してください。)
 - ご住所・お名前・電話番号
 - 訪問ご希望日
- この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■エアコン廃棄時にご注意願います。



ウインドエアコンにはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類(R32)が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

【冷媒の見える化表示について】

この表示は、ウインドエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。〈廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます〉

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化など料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

20 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍におこなっています。

【製造年】 (本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)



【設計上の標準使用期間】 10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

【標準使用条件】 ルームエアコンディショナの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件による (JIS C 9921-3)

環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃ (乾球温度)
	冷房室内湿度	47% (湿球温度 19℃)
	冷房室外温度	35℃ (乾球温度)
	冷房室外湿度	40% (湿球温度 24℃)
	設置条件	機器の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	機器能力に見合った広さの部屋 (畳数)
想定時間	1年あたりの使用日数	東京モデル 冷房 6月2日から9月21日までの112日間
	1日あたりの使用時間	冷房 9時間/日
	1年間の使用時間	冷房 1,008時間/年

- 設計上の標準使用期間とは、運転時間や温湿度など、左記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

ご注意

- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。
- 設置状況や環境、使用頻度が左記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。



お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。

電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号 365日24時間受付）

TEL フリーダイヤル  **0120-919-302**

携帯電話 ナビダイヤル  **0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ

<https://www.corona.co.jp/support/service/>

■365日24時間修理依頼ができます。

部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。

右記QRコードからアクセスできます。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。



公式オンラインストア

CORONA STORE

<https://ec.coronaweb.com/>

（コロナ公式ホームページからもアクセスできます）



926040R

愛情点検		長年ご使用のエアコンの点検を！	●エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。
	このような症状はありませんか	■電源コードやプラグが異常に熱い ■こげくさい臭いがする ■エアコンから水もれがする ■電源プラグやコンセントが変色している ■ヒューズやブレーカーがひんぱんに切れる ■運転音が異常に高くなる ■本体のスイッチやリモコンの操作が不確実 ■その他の異常や故障がある	ご使用中 止 故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。 点検・修理について詳しいことはお買いあげの販売店にご相談ください。

お客様メモ		●お買いあげの際に記入されると便利です。
販売店名	電話（ ） —	
お買いあげ日	年 月 日	

株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 〈代表〉

ホームページ <https://www.corona.co.jp/>